

大項目	読むこと
小項目	逐次読み
タイトル (教材名)	リズムに合わせて読もう!
目的 身につけてほしい 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈や記憶に頼ってかたまりで文字を捉えるのではなく、1つずつの文字と音を結びつけることで、初見の単語を読めるようにする。</li> <li>・文字を続けて読む練習を通して、スムーズに音読をする力を伸ばす。</li> </ul>
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無意味音節のカード（パソコンのスライド等でも可）を用意する。</li> <li>・カードの文字は、2音から始め、3音、4音…と徐々に増やしていく。</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;例&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; text-align: center;">な そ</div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; text-align: center;">く け ね</div> </div>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2音から始め、指導者の手拍子やメトロノームの音に合わせて読む（本人がリズムに乗れるゆっくりのテンポから始める）。</li> <li>・テンポに合わせて正確に読めたら、徐々に文字数を増やしていく。</li> <li>・最終的にはメトロノームで120のテンポ（1秒に2文字）で読めるように練習する。</li> </ul> <p>[応用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードの中に意味のある単語を混ぜておき、見つけられたら「ビンゴ!」と言う等のゲーム性をもたせると、意味理解にもつなげることができる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背景として、文字を読む視線と発声が一致していないことが考えられる。</li> <li>・短時間で良いので継続して行い、徐々に速く、文字数を多くしていくと、続けて文字を読む力を身につけることができる。</li> </ul>